



2015・6・11

第 206 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

審議序盤から戦争法案の欠陥・矛盾が噴出

与党の“脅迫” 宣伝にも反撃を

4日の衆院憲法審査会の参考人質疑では、参考人として出席した長谷部恭男・早稲田大教授、小林節・慶応大名誉教授、笹田栄司・早稲田大教授の3氏全員が戦争法案は違憲との考えを表明、自公与党に衝撃がはしっています。しかも8日付「読売」の世論調査では、安倍内閣支持率が53%に低下（前月比5%減）、戦争法案の今国会成立には反対が59%（同11%増）と急激に増加しています。

こうした反対世論のたかまりに対抗するため、自民党は100万枚のチラシを準備、全国で青年部などを中心に、「中国や北朝鮮は日本に何基もミサイルを向けている」などの脅しの宣伝を開始しています。

市内全域に憲法の条文配布を決定

【福島県南相馬市原町区・「はらまち九条の会」】 「はらまち九条の会」は、「憲法学者鈴木安蔵の出生地」、また「事故原発に世界一近い九条の会」を自覚し活動してい

地元選出議員への

電話、ファックス、メールを

戦争法案は、審議の序盤から、憲法違反であり、日本を戦争する国にする危険なものであることが暴露されています。いまこそ主権者として、「この悪法を廃案にせよ」、の声を事務所訪問や電話、ファックス、メール等で地元選出の議員に集中しましょう。

ます。今年で発足10年。会員は439名（うち50名は原発事故で未だ市外に避難中、市外の会員は60名）。

今年になって、全国にちょっとだけ自慢できる活動が3つあります。

まず、3月市議会に「市当局による『憲法』の発行と市内全戸に配布」を陳情し、それが採択、今年中に市内全戸に現憲法条文集が配布されることになりました。自民党改憲草案が出され、9条がなし崩しにされ、改憲が企てられている現在、画期的なことです。

二つ目は、5月3日の市内15,000戸に配布されている朝刊全紙に「集団的自衛権容認反対のチラシ」を折り込んだこと。3年連続で行っていますが、その度に入会希望者が生まれます。

三つ目は、全国、特に関東地区の人びとを、南相馬市の津波あと・迅速な避難で犠牲者ゼロの浪江町請戸小学校・希望の牧場・鈴木安蔵生家・飯舘村の除染の様子など、被災地訪問の案内を行っています。関東以西はすっかり東京五輪ムードですが、実は復興も進まず、特に原発被災地は人権無視で、深刻な、惨憺たる状況に追い込まれていて、現地立つことで理解していただき、原発再稼働などはまさに狂気と訴えています。

なお、ホームページ「はらまち九条の会」会報をご覧ください。

<事務局長 山崎 健一>

地域でミニミニパレード

【埼玉県上尾市・第二団地平方地域周辺市井の人々の9条の会】 6月7日(日)に地域で、「戦争法案反対・9条こわすな!ミニミニパレード」を行いました。

当日、歩け歩け大会が行われることに合わせ、黄色の布でつくった9条腕章・横断幕(長さ3メートル)・プラカード・当会のチラシを用意しました。

朝9時、15人が橘神社に集結し、歩け歩け大会参加者500~600人程の方や、ご近所の方にチラシを配りながら、途中3ヵ所でハンドマイクで訴えました。大会参加者からは、握手やハイタッチあり、頑張っているなど、手を振って応えて頂くなど、前回の

パレードより関心が高くなっていることに皆驚き、戦争法案反対の圧倒的世論をつくる為の草の根の宣伝活動の大切さを実感しました。

当会は、毎月9の日宣伝を行い、これまで、ハンドマイク宣伝は212ヵ所の地域になりました。

また、地元選出の衆議院議員さんに要望書を届け、市議会に対し廃案を求める意見書を出してもらった請願書を提出しました。

集結場所の橘神社は、47年前、地元の有志によって戦死者らを慰める目的で建立された石碑があり、碑文には、今の世相を予見し、我らに警鐘を鳴らす文章があります。

「数次にわたる戦役はその都度、国運を賭し、国民は多大かつ貴重な犠牲を余儀なくされた。今日、民主主義国家として外に国際平和主義のもと戦争を放棄し、内に繁栄を謳歌しようも、かかる数次大戦の貴重な犠牲によるものである」「我らは現在および未来の人々が歴史の教訓を生かして万人の幸福のため、郷土を受して誤りなき道を進まんことをこい願うものである」

<代表世話人 五十嵐 進>

「9条ラン」で戦争法案反対を訴え

【鹿児島・RUNNERS(ランナーズ)9条の会】

ランニング愛好者でつくるランナーズ9条の会の鹿児島県下の有志は5月17日、「憲法9条ラン」を行い、14人が約60キロをリレーながら、「戦争法案反対」を訴えて薩摩路を駆け抜けました。

さつま町宮之城で行われた出発式で、鹿児島ラン実行委員会の松下賢治代表(小児科医)が『戦争法案』でわが国は戦争する国に

されようとしている。憲法9条を走りながら訴えましょう」とあいさつ、地元の「九条の会・入来」の堀切時子代表も激励のあいさつをしました。

青のそろいのユニホームに身を包んだランナーたちは、「守ろう憲法9条」のたすきをかけ、県下1周駅伝コースの宮之城、伊佐、横川など5区間を力走しました。

決意をこめて再スタート

【長野県大町市・おおまち9条の会】 5月17日、「おおまち9条の会」発足記念集会が開かれ、年齢も立場もさまざまな75人が参加し、元気の出る集会になりました。

オープニングは、準備委員一同による、詩「私が一番きれいだった時」、憲法前文と9条、「九条の会」アピール(抜粋)の朗読がおこなわれました。

つづいて、呼びかけ人が次々あいさつ。「今は、一人ひとりが迷いや逡巡を捨てて、しっかり声をあげるとき」(被爆2世の水久保節さん)、「世界から戦争をなくしたい。もっと若者が参加してほしい。自分も周りに広げるので、皆さんも家族、子ども、お孫さんに声かけを」(若い母親の槇野恵里さん)などのよびかけがおこなわれました。

記念講演のあとの経過報告では、2005年から活動してきた「大北九条の会」を発展的に再スタートさせ、幅広く呼びかけて活性化させるために、昨年10月から準備を進めたこと、3月から賛同者を募り281人になったことが報告されました。

討論では、若い人が「憲法をわかりやすく説明する本の紹介を」、「車に『寄らば9条の影』と自作のステッカー貼って日々、自

分の意見を表明している人がいる」、「沖縄と憲法の関係をおしえて」などの意見や質問が出されました。

賛同者2000人・9条署名1万5千人をめざすことを確認しました。

戦争法案提出に対抗する活動めざし

【あいち九条の会】 戦争立法が5月15日に国会に提出され、この事態に戦争立法を阻むために九条の会として、いま何ができるのかという思いから、あいち九条の会は5月17日に緊急相談会を開きました。相談会では愛敬浩二(名古屋大学教授)さんより、戦争立法と憲法破壊の動きについて講演をいただき、参加された県下各地の九条の会の皆さんから率直なご意見をいただくことができました。

続く19日にあいち九条の会第106回世話人会を開催し、5月1日に発表された「九条の会事務局からの訴えと提案」、相談会のなかで頂いたご意見をふまえて、愛知での取り組みについて協議したところです。戦争立法が国会上程されたという新たな事態の下、戦争立法廃案の国民の声を政府に直接につきつけるために、「九条の会」が新たに提起した署名に積極的に取り組むことを中心に、あいち九条の会として戦争立法阻止のこれまでにない運動に取り組むことを確認しました。そして、愛知県下245(住所の判明している会)の九条の会に、署名などの行動を呼びかけました。あわせて、908人のあいち九条の会会員にも、署名や行動への参加を呼びかけました。

<事務局次長 伊藤 耕二>